

韓国に工場 月内稼働

小松電機産業 初の海外生産拠点

シャツター製造の小松電機産業(松江市)は3日、シート製のシャツターを生産する工場を6月、韓国・ソウル市近郊に移働すると発表した。同社初の海外生産拠点で、韓国内の食品工場向け需要に対応。中国への輸出もにらむ。

ソウル市南約30キロにある始興市の工業団地に、鉄骨2階建て約300平方メートルの工場を借りる。工場の出入り口を間仕切りする主力の



シート製のシャツターを生産する。社員1人が常駐し、パート従業員6人の計7人で操業。初年度は500台の生産を目指す。昨年7月に開設した

ソウル支社での販売が好調で、これまで食品や電子部品の工場に約200台を納入。新工場の稼働で新規顧客の開拓に力を入れる。小松昭夫社長は「ア

シアでは工場新設や増設が相次いでいる。このチャンスに市場を広げたい」と意気込む。同社は1973年創業で、シートシャツターの国内シェアは昨年度で約3割。売上高に占める海外販売比率は約6%で、これまでは輸出で対応してきた。(樋口浩二)